

第3章

重点プロジェクトの進捗状況

個別目標の中から、他の施策より優先的に取り組むことが必要な施策や着実な進展が求められている事項について設定した「重点プロジェクト」の進捗状況を報告します。

1

里山の保全・活用に向けたしくみづくり(重点プロジェクト)

【 中心となる担当課 : 都市整備課、生活環境課、産業振興課 】

農家や地元の人々の暮らしの中で育まれてきた樹林地、農地、水辺などが共存する里山環境を守るために、市民や NPO 団体との協働のもと、里山の維持管理活動や遊休農地の解消、自然観察会など市民と自然とのふれあいの場の創出などの取組みを推進しています。

平成 20 年度実施状況

本市の豊かな自然は、多種多様な生き物が生育・生息し、自然の営みと人々の生活が調和したかけがえのない貴重な環境です。

平成 20 年度は、草深の森において、地権者と市民、NPO 団体の協力のもと、竹林の伐採や枯れ木の除去作業、除去木を利用したバイオスタづくりを実施しました。

また、市民ボランティアの活動や農業研修を通じて農業版ハローワークへの登録を促進するなど、新規就農者の支援と遊休農地解消に向けた取組みを実施しました。

結縁寺地区に隣接する松崎台公園では、修景池にオニバスを咲かせるため NPO 法人と調整を行っています。

印西自然探検隊や生物モニタリング調査等では、市民が里山環境に触れることで、環境保全に対する関心や理解を深める機会を提供できました。市内では、これらの他にも市民主体の自然観察会などが開催されており、広報紙やホームページなどを通じて情報提供を行っています。



印西自然探検隊(草深の森)



印西自然探検隊(浦部川)

今後の展開

里山環境の保全・活用に向けて、農業従事者や市民と連携しながら就農者支援などの取組みを推進し、遊休農地の解消と農地の有効利用を促進します。

また、市民や NPO 団体、ボランティアなどと協働し、里山の維持管理活動や自然観察会などを継続して実施することで、環境保全に対する意識の高揚を図っていきます。

2 地球温暖化対策の推進(重点プロジェクト)

【 中心となる担当課 : 生活環境課 】

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素(CO₂)の排出削減のためには市・市民・事業者が自らの生活や事業活動を見直していく必要があります。

そのために、市では市内エコプランを率先して実践していくとともに、環境家計簿の普及を促進し、市民の省エネルギー意識を啓発していきます。

また、太陽光発電システムなど、自然エネルギーの利用普及に努めます。

平成 20 年度実施状況

地球温暖化の問題に対しては、市だけでなく市民・事業者の協力のもと、地域全体で取り組んでいくことが求められています。

平成 20 年度は、市内エコプランを改訂するとともに、市職員への説明会を実施し、事業活動に伴って排出される温室効果ガスをより計画的・効果的に削減していくための取組みを促しました。

家庭における CO₂ 排出量を計算する環境家計簿の取組みについては、広報紙やホームページで参加を呼び掛けた他、環境フェスタや公民館まつりでも PR 活動を行いました。また、市では環境家計簿を提出していただいたみなさんにエコバッグとエコ診断表を配布しています。

太陽光発電システムや太陽熱温水器など、自然エネルギー利用施設の設置補助についても、各媒体を通じて PR を行っており、設置基数は年々増加しています。



エコ診断表

今後の展開

平成 22 年度には市庁舎屋上に設置した太陽光発電パネルの稼働を開始します。また、市内エコプランの継続実施や、太陽光発電システム等の設置補助、環境家計簿の普及啓発を促進することで、各主体の温室効果ガス排出削減の意識高揚を図り、市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策を推進していきます。

3

マイバッグの利用促進(重点プロジェクト)

【 中心となる担当課 : 生活環境課 】

ごみの排出量を減らしていくためには地域が一体となって、ごみそのものの排出量を抑制していくことが重要です。特に使い捨て文化の象徴とされるレジ袋は、日本で年間約300億枚(国民一人当たり1日約1枚)がごみとして排出されています。

本市では、市内の事業者と協力し、レジ袋の削減やマイバッグの利用促進などについて、市民への普及啓発を実施しています。

平成20年度実施状況

市では、マイバッグの利用促進とレジ袋の削減のため、毎月5日をノーレジ袋デーと定め、マイバッグの持参を推進しています。

さらに、マイバッグの利用普及を図るため、関係機関と協力してマイバッグキャンペーン運動を展開しており、広報紙やホームページへの掲載の他、事業者へのポスター配布などを通じてマイバッグの普及を推進しています。

また、市ではマイバッグ普及促進協力店制度を設けており、マイバッグ持参を積極的に推進している店舗を普及促進協力店として登録しています。平成20年度は11店舗を認定し、協力店のPRやマイバッグ普及ポスターの掲示など、市と事業者の協働により、市民へのマイバッグ普及を推進しました。

その他、子育て応援フェスタでは、遊びの中で小さな子供たちにエコバッグを活用した買い物を体験してもらいました。



印西市エコバッグ(マイバッグ)



ノーレジ袋デー普及ポスター

今後の展開

マイバッグの利用を普及するために、ポスター掲示やイベント等でノーレジ袋デーの周知を図るとともに、マイバッグ普及促進協力店の拡充を推進していきます。